環境保全協定に基づく「環境保全報告書」

令和７年度環境保全報告書　アサヒ飲料株式会社六甲工場

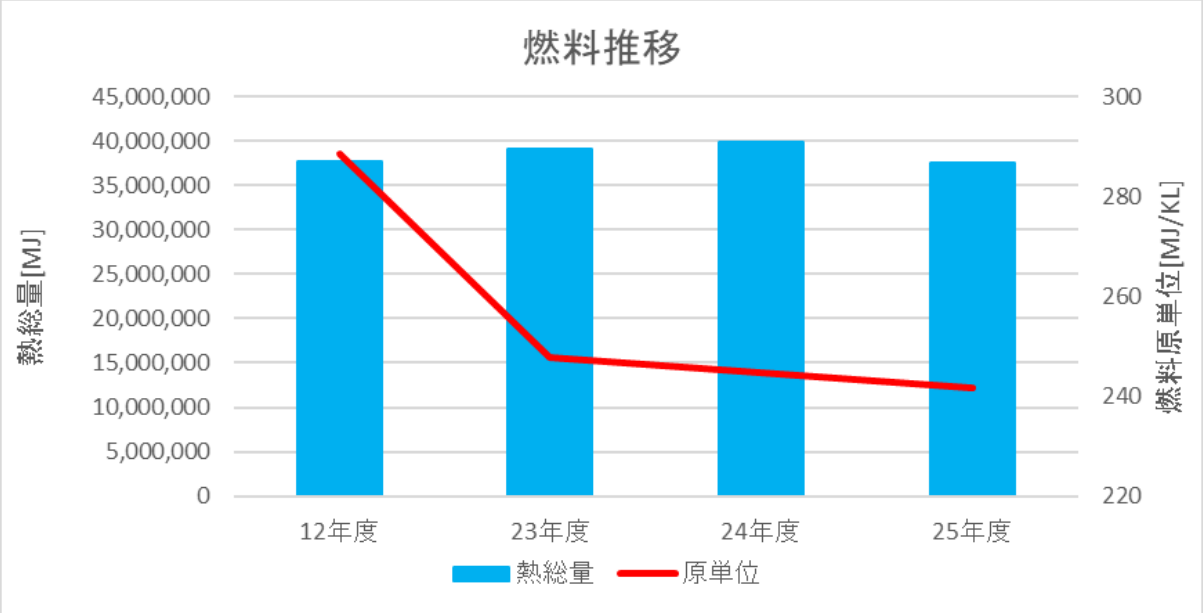
①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

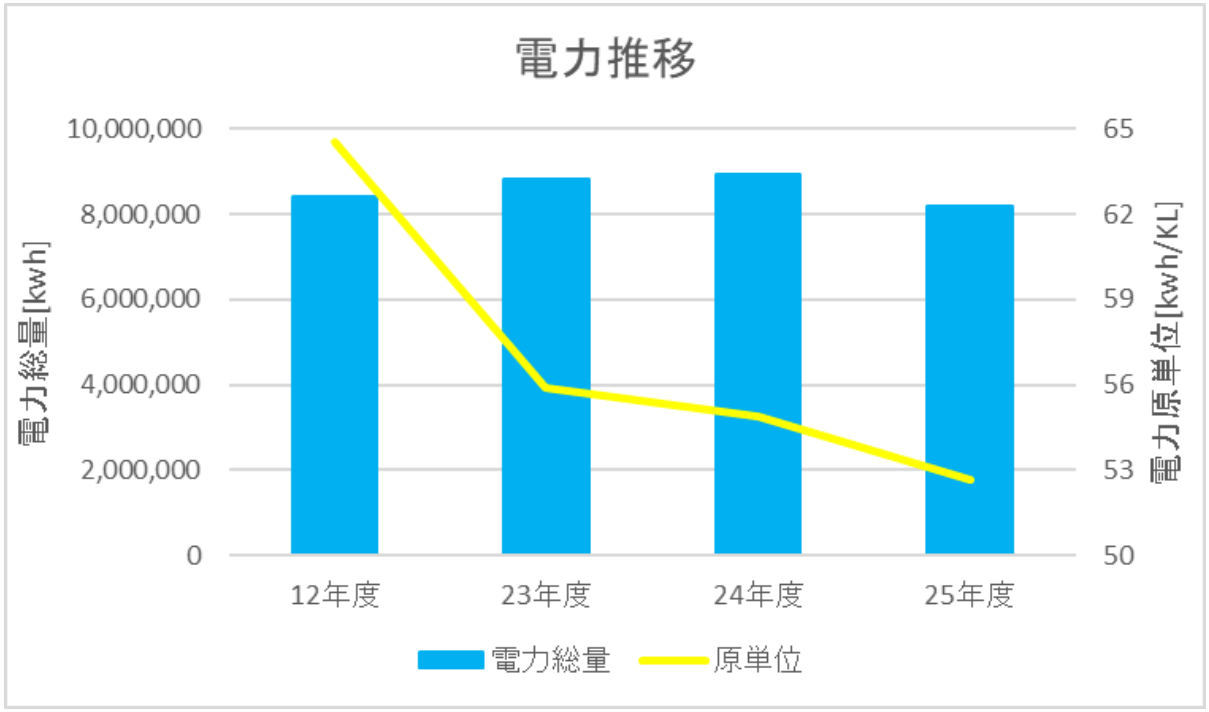
当工場では、エネルギー原単位について前年比１％削減を目標に取り組んでおります。2025 年度は、前年度より燃料使用量が 1.2%削減、電力は 4.0%削減、用水は 6.9％削減しました。

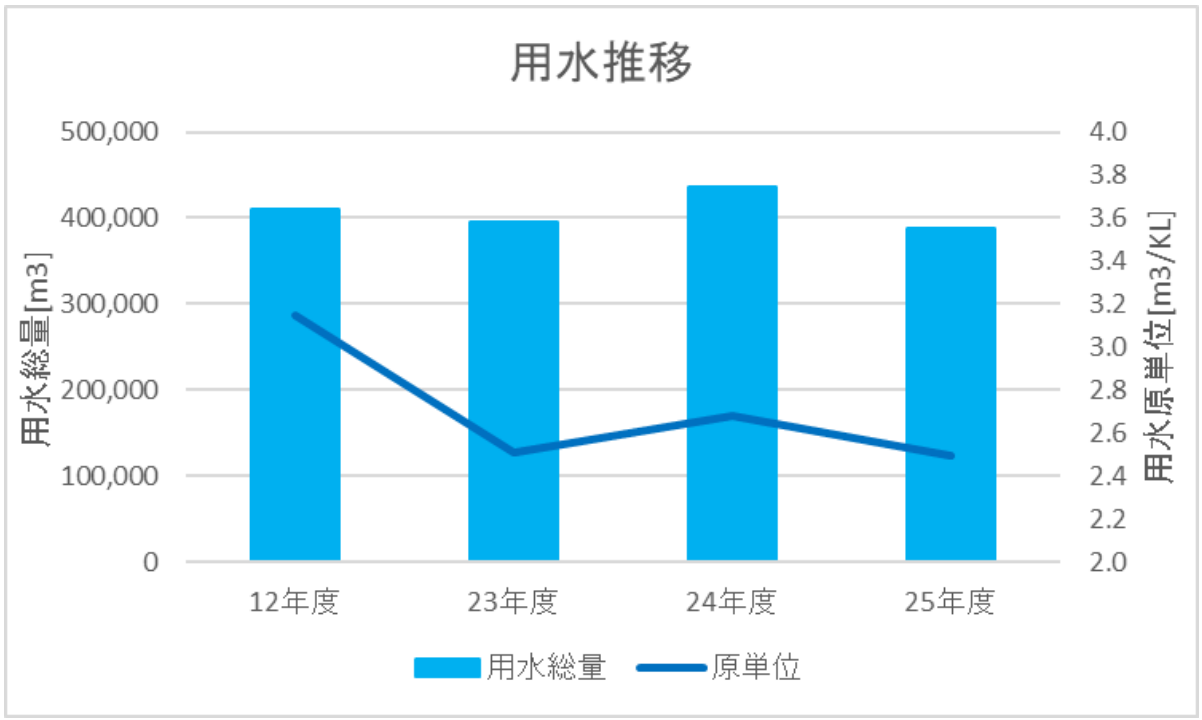
今後、計画している省エネ施策を着実に実施し、原単位低減の取り組みを進めていきます。

●エネルギー使用量・原単位

項目			12 年度（基準）	23 年度	24 年度	25 年度
製造量	総量	KL	130,414	157,822	162,950	155,091
燃料	総量	m3	836,221	908,262	925,944	870,571
	熱総量	MJ	37,629,945	39,111,761	39,873,187	37,488,703
	原単位	MJ/KL	288.5	247.8	244.7	241.7
電力	電力総量	KWh	8,413,733	8,822,952	8,940,779	8,169,918
	原単位	KWh/KL	64.5	55.9	54.9	52.7
用水	用水総量	m3	410,526	396,140	437,007	387,090
	原単位	m3/KL	3.1	2.5	2.7	2.5




電力推移
10,000,000
8,000,000
6,000,000
4,000,000
2,000,000
0
65
62
59
56
53
50
電力総量[kwh]
電力原単位[kwh/KL]
12年度
23年度
24年度
25年度
電力総量
原単位


用水推移
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
4.0
3.8
3.6
3.4
3.2
3.0
2.8
2.6
2.4
2.2
2.0
用水総量[m3]
用水原単位[m3/KL]
12年度
23年度
24年度
25年度
用水総量
原単位

②公害防止対策に係る報告
ア．目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

	目標項目	目標達成状況	目標達成の為に講じた措置・対策
大気汚染防止対策	◆「大気汚染防止法」、「大気汚染防止法第4条第1項の排出基準に関する条例(兵庫県条例)」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」等の法令の規定を遵守する。 ◆別表ばい煙発生施設からの排出規制に係る目標値を遵守する。	排出に関わる測定結果が自主目標値内であった。 別表にて報告。	◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出ガス中のばい煙濃度測定計画」により目標の順守状況を確認した。
水質汚濁防止対策	◆「下水道法」、「神戸市下水道条例」、「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」等の法令の規定を遵守する。 ◆下水は「下水道法」、「神戸市下水道条例」は、別表に記載する水質に係る管理目標値を遵守する。 ◆排出水は「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」に定める基準を遵守する。	排出に関わる測定結果が法令基準内であった。 別表にて報告。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出水の汚濁状態測定計画」及び「排出水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の順守状況を確認した。
騒音防止対策	◆「騒音規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	騒音・振動に関わる測定結果が基準内であった。	「騒音規制法」「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
振動防止対策	◆「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。		
悪臭防止対策	◆「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	臭気に関わる測定結果が基準内であった。	「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
産業廃棄物対策	◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。 ◆廃棄物の発生量を抑制するとともに、再利用を促進する。	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守出来た。資材廃棄ロス削減に取組んだ。	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準の遵守状況を確認した。

イ．2025 年度　排出水の汚濁状態測定結果

排水口名:公共下水道									
項目			管理目標値	測定値		全測定回数	超過した目標値を回数	目標値達成回数	法令基準達成判定
				最大値（pHのみ最小～最大）	平均				
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.8~7.5	7.4	12	0	○	○
	2	生物化学的酸素要求量(BOD)	159.2mg/L	65	9.8	12	0	○	○
	3	浮遊物質量(SS)	49.2mg/L	41	10	12	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 動植物油脂類含量	27.7mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 鉱油類含有量	4.5mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	6	窒素含有量	56.2mg/l	1.4	0.5	12	0	○	○
	7	燐含有量	14.0mg/l	0.7	0.2	12	0	○	○
	8	沃素消費量	198mg/l	0.0	1未満	12	0	○	○
	9	温度	44.5℃	37.0	25.9	12	0	○	○

単位はpHを除き、mg／ℓ
○　達成　　×　未達成

ウ.当該年度における窒素酸化物濃度・ばいじん濃度の測定結果

設備名称	窒素酸化物				煤塵			
	自主目標値	2回測定値（最大）	2回測定値（平均）	目標法令判定	自主目標値	2回測定値（最大）	2回測定値（平均）	目標法令判定
貫流ボイラー1号	135.0	0	#DIV/0!	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー2号	135.0	26	26.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー3号	135.0	29	29.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー4号	135.0	34	34.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー5号	135.0	24	24.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー6号	135.0	24	24.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー7号	135.0	26	26.0	○	0.09	0.000	0.002未満	○

③地球温暖化対策に係る報告

ア．今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量	排出係数	排出量	温暖化係数	合計
				(MJ/Nm3)	kg-CO2/MJ	kg-CO2	CO2	(CO2換算)
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867			
	一般炭		kg	26.6	0.0906			
	A重油		L	39.1	0.0693			
	B重油		L	40.4	0.0705			
	C重油		L	41.7	0.0716			
	LPG		kg	50.2	0.0598			
	都市ガス	833,082	Nm3	45.0	0.0499	1,869,437	1	1,869,437
	その他(廃棄物等)		kg	42.3	0.0762			
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	8,169,918	kWh		0.299 (kg-CO2/kwh)	2,442,805	1	2,442,805
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
合計						4,312,242		4,312,242

イ．当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率	
	24年度	25年度	基準年度(12年度)	25年度	基準年度比 25年度	削減目標比 25年度
CO2	4,333,178	4,289,846	4,888,596	4,312,242	11.8%	-0.5%
CH4						
CO						
HFC						
PFC						
SF6						
合計	4,333,178	4,289,846	4,888,596	4,312,242	11.8%	-0.5%

ウ．目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減 燃料使用量の削減	原水前処理系統(ﾌｨﾙﾀｰ&活性炭)切替頻度を5日毎→6日毎	2月開始	2月より運用
2	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減 燃料使用量の削減	原水前処理系統(ﾌｨﾙﾀｰ&活性炭)切替頻度を6日毎→7日毎	5月開始	5月より運用
3	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減	冷却水ポンプ容量見直し	4月開始	4月より運用
4	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減	MW600・炭酸製造時井戸ポンプ揚水最小化③	2月開始	2月より運用

④公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

以下、HP 参照

https://www.asahiinryo.co.jp/csv/eco/